



keyword

心づかう

Concern



keyword

歩く

Walk



keyword

憩う

Rest



keyword

自立する

Independent



keyword

寄り添う

Care

CELが考えるスローをまちにとり入れるための10の条件

まちでスローな暮らしを営むために、
日本らしくスローをまちにとり入れるために、
人はなにを意識したらよいのか。
まずは日常に目を向けてみよう。
ライフスタイルのなかにも
その要素が隠れていないだろうか。



keyword

緩む

Relax



keyword

育てる

Raise



keyword

交わる

Interact



keyword

受け入れる

Receive



keyword

伝える

Tell

7

keyword

心づかう

Concern

他人に親切にし、
訪れた人をもてなす気持ちにあふれ、
それが楽しく遊び心に満ちている。
施設、人あたりなど、すべてのまち要素に
その姿勢が反映され、
訪問者がずっといたい、
また来たいとを感じるような
温かさのあるまち。

6

keyword

憩う

Rest

緑、水などの自然が
大切に維持管理され、
人と自然の共生が実現できるよう、
まちづくりに配慮がなされている。
誰にとっても自分の居場所があり、
安らぎを感じつつ、ゆっくりと
くつろぐことができる憩いのまち。

8

keyword

歩く

Walk

ゆっくりと歩き回ることのできる
路地や歩道が多くある。
歩くとその地域の街並み、歴史、人、自然など、
さまざまな顔が発見できる。
それが楽しくて、
また歩こうと思え、
自然と愛着がわいてくるようなまち。

10

keyword

寄り添う

Care

子どもや弱者、困っている人を見守り、
援助しようと手を差し伸べる
市民の意識が根付いている。
加えて、無理のない自立を促し、
社会の一員として包摂していけるよう、
制度、施設、ルールが整備され、
実践されているまち。

9

keyword

自立する

Independent

エネルギーや経済を
他地域に過度に依存せず、
自分たちで賄おうという
気概にあふれている。
地産地消、
コミュニティビジネスなどを中心に、
地域資源を活かした
循環型経済を大切にするまち。

人がまちで よりスローな暮らしを 営むための キーワードとしての 10の行動

効率重視、スピード重視の生活は、ふと気づくと息苦しさを覚えるものだ。まちの姿もまた然り。ゆったり、ゆっくりと過ごせるまちに憧れは持つが、まちの機能は維持していかなければならない。多少は便利な要素も欲しい……。こうした矛盾する希望を持つ現代人は、なかなか欲張りである。世界には、「スロー」をはっきりと意識してライフスタイルやまちづくりにとり入れようとする動きがある。1986年、スローフードという言葉がイタリアで生まれ、その思想が拡張されてスローライフ運動となり、やがてまちづくりへも応用されてスローシティ運動が誕生した。日本でも、それぞれのまちには、それぞれのまちに合ったスローのとり入れかたがあるはずだ。さらに、スローさと機能性を両立させたいという、現代人の矛盾した願いをかなえるには、どうしたらよいのだろうか。今回、こうした背景をもとに、「まちにスローをとり入れる」という趣旨で特集を組んだ。特集内では、さまざまな事例取材や識者の論考から、まちがそれぞれの持つ特徴に合わせた独自のスローさを獲得するためには何が必要なのか、どんな形でまちにとり入れるのか、検証を行いたい。また、それらを通じて、私たちが、今までとは異なる「生活の豊かさ」に気づくきっかけや実践につながることを期待しているのである。ここでは、特集の冒頭にあたり、こうした検証からCELが見出した、まちにスローをとり入れるための10の要素をとりあげてみた。人がまちで、よりスローな暮らしを営むためのキーワードであり、10の「行動」である。これらのいくつかを、まるでブロックのように組み合わせていくことで、日本的なスローのとり入れかたを獲得するための、何らかの道すじが見えてこないだろうか。

2

keyword

緩む

Relax

街並みや人の動きが落ち着いていて
時間がゆっくりと進んでおり、
何かに急かされたり、
危険を感じたりすることがなく安心できる。
精神的、肉体的なストレスから解放され、
自分を癒すことのできる場所や
雰囲気のあるまち。

1

keyword

交わる

Interact

さまざまな人が集まる場所が
あちこちにあり、そこでは旧交、出会い、
会話や笑顔があふれている。
子どもと高齢者など、
世代や生活環境の壁をこえた
交流が日常的に見られる。
そんな多様なつながりが
次々に広がっていくまち。

3

keyword

育てる

Raise

人(子ども)、動植物、生態系など、
地域のさまざまな命を大切に思い、
それらが健やかに成長できるような
施設や制度が豊かに存在する。
子育て支援、環境保全、
NPO活動などが充実し、
未来への希望が持てるまち。

5

keyword

受け入れる

Receive

異質なもののや異なる考え方を排除せず、
他者から大いに学ぼうという
オープンな姿勢が
まちづくり施策の基本になっている。
人の多様な可能性を追求する、
自由で創造的な取り組みを受容する
度量の広さを持っているまち。

4

keyword

伝える

Tell

その地域に根ざした文化や伝統、
慣習を大切にし、
大人から子どもへと引き継いでいこうと
市民が積極的に課題に関わっている。
結果として、暮らしの持続可能性を
展望、期待することのできる
継続性のあるまち。